

関係者各位

中園孔二 個展「すべての面がこっちを向いている」

(2021年4月24日～5月23日)

ANB Tokyo では、2021年4月24日(土)より5月23日(日)まで小山登美夫ギャラリーの協力を得て中園孔二の個展「すべての面がこっちを向いている」を開催します。会期に先立ち、2021年4月21日と22日の2日間プレスの皆様、関係者向けのプレビューを設けております。一人でも多くの皆様にご高覧いただきたく、広報にご協力下さいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

中園孔二は1989年神奈川県生まれ。2015年、25歳という若さで夭逝するまでに、絵画を中心に彫刻、インスタレーションも含め700点以上にわたる作品を制作しています。生前、東京オペラシティアートギャラリーグループ展「絵画の在りか」に出品、逝去後も、埼玉県立近代美術館でのグループ展(2016年)のほか、パリのポンピドーセンター・メス(2017年)や、モスクワビエンナーレ(2017年)、アイルランド近代美術館(2019年)などの展覧会に参加。2018年には横須賀美術館にて個展「中園孔二展 外縁-見てみたかった景色」が開催され、同時に求龍堂より作品集も刊行。大きな話題となりました。作品は神奈川県立近代美術館、高松市美術館、東京都現代美術館に所蔵されています。

今回の ANB Tokyo での個展は、横須賀美術館の開催以来、3年ぶり5度目の個展となります。自宅やスタジオ、ギャラリーで保管されていた未発表の小作品およそ50点と、ドローイングブックを展示します。また会場内では、中園の友人の中村土光がアーティストのインタビュー映像を集めたプロジェクト「誰かの CV 2014」より中園のインタビュー映像を提供していただき、特別に上映します。

展示予定作品



1. 無題 2014
Oil on canvas
61.0 × 91.5 cm



2. 無題 制作年不明
oil on canvas
22.0 × 27.0 cm



3. 無題 制作年不明
crayon on acrylic board
109.0 × 109.0 cm



4. 無題 制作年不明
oil pastel on paper board
51.5 × 36.5 cm

Size: W×H cm / All images: © Koji Nakazono, courtesy of Tomio Koyama Gallery

展示概要 (予定)

会場	ANB Tokyo 3F&4F (港区六本木5丁目2-4) *六本木駅から徒歩3分
会期	2021年4月24日(土)～5月23日(日)
開館時間	12:00～18:00 (金・土曜日は20:00まで)
休館日	月・火
入場方法	入場料: 1000円 中・高校生 入場無料 ※受付にて学生証要提示 オンライン事前予約制。予約URLは4月10日に公開予定。
協力	小山登美夫ギャラリー

プレスの方へ

4月21日(水)～22日(木): プレビュー 12:00～18:00

※12:00-14:00はプレスの方のみ。14:00よりご招待のお客様が来場されます。

【プレビュー事前申込みフォーム URL】 <https://forms.gle/UCa29PUoC5JVkQXA6>

新型コロナウイルスの影響を考慮し、不特定多数のお客様が集まるレセプションは行いません。プレビュー期間いつでもお越しいただけます。感染防止対策に努め、皆様のご来場をお待ちしております。

中園孔二

1989年神奈川県生まれ。2015年7月他界、享年25歳。2012年東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻卒業。同年「アートアワードトーキョー丸の内2012」に選出され、小山登美夫賞、オーディエンス賞を受賞。個展として、2013、2016年小山登美夫ギャラリー、2014年8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery、2018年には横須賀美術館にて、初の美術館での個展「中園孔二展 外縁ー見てみたかった景色」を開催した。

<個展>

- 2018 「中園孔二展 外縁ー見てみたかった景色」横須賀美術館、神奈川県
- 2016 小山登美夫ギャラリー、東京
- 2014 8/ART GALLERY/Tomio Koyama Gallery、東京
- 2013 小山登美夫ギャラリー、東京

<グループ展>

- 2020 「顔」小山登美夫ギャラリー、東京
「コレクション展 ゴッホから中園孔二まで」神奈川県立近代美術館 葉山館 展示室1、三浦
「高松市美術館コレクション+身体とムービング」高松市美術館、香川
- 2019 「DESIRE: A REVISION FROM THE 20TH CENTURY TO THE DIGITAL AGE」
Irish Museum of Modern Art (IMMA)、ダブリン、アイルランド
「MOT コレクション第1期、第2期 ただいま/はじめまして」東京都現代美術館、東京
- 2017 『東京藝術大学130周年記念事業 全国美術・教育リサーチプロジェクト-文化芸術基盤の拡大を目指して-
「子供は誰でも芸術家だ。問題は、大人になっても芸術家でいられるかどうかだ。パブロ・ピカソ」
東京藝術大学大学美術館、東京
「Japanorama. A new vision on art since 1970」ボンビドゥー・センター・メス、フランス
第7回モスクワ国際現代美術ビエンナーレ「Clouds⇔Forests」国立トレチャコフ美術館、モスクワ、ロシア
- 2016 「NEW VISION SAITAMA 5 迫り出す身体」埼玉県立近代美術館、埼玉
- 2014 「絵画の在りか」東京オペラシティ アートギャラリー、東京
- 2012 「アートアワードトーキョー丸の内2012」行幸地下ギャラリー、東京
「富田正宣/中園孔二展」ターナーギャラリー、東京
- 2011 「老の右心房5人展」九段下アトリエ、東京
- 2010 「Works in Weird Space」GENBAGEN、鎌倉、神奈川県
「お守りしてやっかー中園孔二/平井友紀」LOOP HOLE、東京
「OXYMORON」東京藝術大学音楽学部内キャッスル、東京
「JUMBLE SYM」ターナーギャラリー、東京

<パブリックコレクション>

神奈川県立近代美術館
高松市美術館
東京都現代美術館

本展に関するお問い合わせ：inquiry@taa-fdn.org (担当：TAA 三木)

TAA
TOKYO ART
ACCELERATION

一般財団法人東京アートアクセレーションとは

アートを介して文化が息づくエコシステムを社会に醸成していくことを目指して設立。企業や行政と連携し、アーティストの表現活動をサポート、アートと社会の新しい接点をつくるプロジェクトを展開する。

ANB Tokyo とは

2020年、六本木に誕生したANB Tokyoは、ラウンジやギャラリー、スタジオを有するアートコンプレックスビル。TAAの自主企画(展覧会・個展)をはじめ、アートを軸に様々なプロジェクトを通してアートと社会の新しい接点の醸成を目指す。

ウェブサイト：<https://taa-fdn.org/>

Instagram：@anb_tokyo

